



Call Analyticsロゴ／使用ガイドライン

【第2版】

2024年2月発効

01 色指定／フルカラー版

02 色指定／グレースケール版

03 色指定／モノクロ版

04 背景色との関係／グレースケール版・モノクロ版

05 アイソレーション

06 最小使用サイズ

07 使用禁止事項：ロゴの背景

08 使用禁止事項：ロゴの変形・加工

09 使用禁止事項：文章中への組み込み

10 カラーシステム：ブランドカラーパレット

11 カラーシステム：アソートカラーパレット

12 カラーシステム：カラーバランスの目安

01 色指定 / フルカラー版

原則としてロゴは基本フルカラー版をご使用ください。

ただし、カラーで使用したときに視認性を著しく欠く場合は、ネガティブ版またはモノクロ版のデザインを使用してください。

基本フルカラー



ネガティブ版



CMYK C 100 / M 90 / Y 20 / K 0

RGB R 30 / G 55 / B 135

DIC DIC 2601

HEX #1E3787



CMYK C 10 / M 85 / Y 25 / K 0

RGB R 232 / G 72 / B 127

DIC DIC 270

HEX #E8487F



CMYK C 0 / M 0 / Y 0 / K 0

RGB R 255 / G 255 / B 255

HEX #FFFFFF

02 色指定 / グレースケール版

単色印刷等、フルカラー版を使用できない時は、グレースケール版をご使用ください。

基本グレースケール



Call Analytics

ネガティブ版



Call Analytics



CMYK C0/M0/Y0/K100



CMYK C0/M0/Y0/K55



CMYK C0/M0/Y0/K0

03 色指定 / モノクロ版

シルク印刷等、フルカラー版・グレースケール版を使用できない時は、モノクロ版をご使用ください。

黒



Call Analytics

CMYK C0/M0/Y0/K100

白



Call Analytics

CMYK C0/M0/Y0/K0

グレースケール版もしくはモノクロ版ロゴの使用について、
下記を参考に背景色に対し視認性を十分に確保できるロゴをご使用ください。

背景:0%ホワイト ロゴ:基本グレースケール



背景:1%~15%グレー ロゴ:基本グレースケール



背景:16%~54%グレー ロゴ:黒版



背景:55%~79%グレー ロゴ:白版



背景:80%以上グレー ロゴ:ネガティブ版



05 アイソレーション

ロゴの周辺には指定のアイソレーション(余白)を確保し、この領域内にはほかのデザイン要素や文字などを表示しないでください。
また、ロゴの印象を損ねるような目立つ要素を近くに配置することも避けてください。



06 最小使用サイズ

視認性と可読性の確保のため、最小サイズ以下での表示は原則禁止となります。
また、最小サイズ以上での使用であっても、表示環境に応じてロゴタイプが判読可能かどうかを目安にしてください。

WEB/スクリーン等のデジタル表示

 Call Analytics

150px以上

印刷物

 Call Analytics

35mm以上

07 使用禁止事項:ロゴの背景

ロゴは、常に明瞭に見えるようにご使用ください。

文字の上やロゴと近い背景色の上など、ロゴ全体がはっきりと識別できない場所での表示はしないでください。

ロゴの視認性を妨げる背景の上に配置しないでください。



上記のような背景を使用せざるを得ない場合は、下記のようにロゴの視認性を確保する形でご検討ください。



背景に馴染まないロゴに変更する。



白地を敷く。



背景を変更する。

ロゴの文字部分を切り離して単独で使用したり、ロゴの一部が隠れるような表示をしないでください。

カラー、比率、配置など、いかなる方法であっても、ロゴの要素を編集、変更、または再構成して使用しないでください。

下記の禁止例を参考に、ロゴの印象を損なわないようにご使用ください。



変形



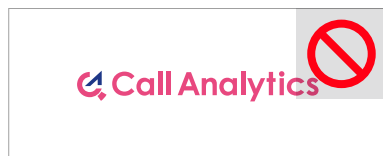
回転



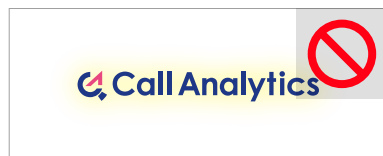
文字間隔の変更



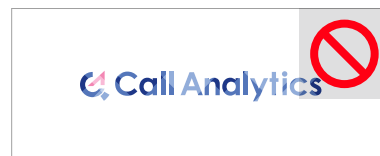
書体の変更



指定色以外での使用



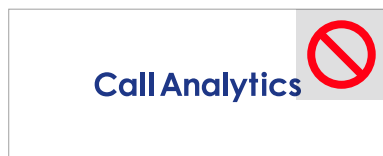
特殊効果を加える



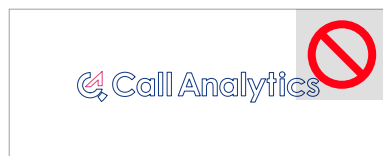
模様を入れる



グラデーションを入れる



要素の一部が欠ける



アウトライン表示にする



他の要素を加える



影を加える



配置を変更する



縁取りを入れる



シンボルのみでの使用



構成要素のバランスを変える

使用禁止事項: 文章中への組み込み

ロゴを文章中へ組み込むことはできません。

文章中に社名を記載する時は、テキストで入力してください。

文章中にロゴを使用しないでください。

 Call Analytics なら分析も手軽に。



自動音声解析サービスの  Call Analytics



上記のような場合は、
テキストで入力してください。

Call Analyticsなら分析も手軽に。



上記のような場合、製品名をテキストにする他、
文章からサービス名を外す事でロゴの使用が可能になります。

自動音声解析サービス

 Call Analytics




テキストでサービス名を記載する際は、「Call」と「Analytics」の間に半角スペースが必要です。

また、「C」と「A」は大文字、その他は小文字で入力してください。また、カタカナ表記はしないでください。

Call Analytics 

CallAnalytics 

call analytics 

コールアナリティクス 

ブランドカラーパレットは、Call Analyticsの存在感をアピールし、視覚的統一性を図ることでブランドイメージを構築する、重要な役割を果たすものです。下記に設定された2種類のカラーパレットそれぞれの役割を理解し、正しく使用してください。

メインカラー

メインカラーはロゴに使用されているカラーであり、サポートカラーとともにブランドコミュニケーション全般で主要カラーとして使用します。

CA-Blue



CMYK C 100/M 90/Y 20/K 0

RGB R 30/G 55/B 135

HEX #1E3787

CA-Pink



CMYK C 10/M 85/Y 25/K 0

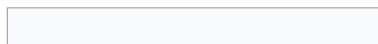
RGB R 232/G 72/B 127

HEX #E8487F

サポートカラー

サポートカラーは主にベース等に使用し、メインカラーを補完する目的で扱います。

Strong White



CMYK C 3/M 2/Y 0/K 0

RGB R 248/G 249/B 250

HEX #F8F9FA

11 カラーシステム:アソートカラーパレット

アソートカラーパレットは、ブランドカラーパレットとの視覚的調和を目的に選定された有彩色群です。
このカラーはそれ自体がブランドを表現する要素ではありませんが、煩雑な色使いを規制し、統制のとれたカラーイメージを形成するためのものです。

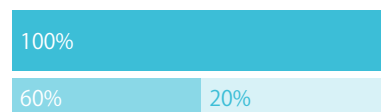
アソートカラー

アソートカラーは、Call Analyticsを訴求する際に必要なテキストや図、グラフなどに使用できます。

それぞれ100%、60%、20%の濃度でご使用ください。

一度に使うアソートカラーは1~2色に留め、全体が煩雑にならないようにしてください。

Turquoise Blue

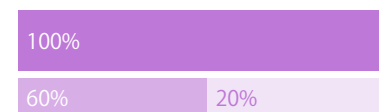


CMYK C 65 / M 5 / Y 20 / K 0

RGB R 60 / G 190 / B 215

HEX #3CBED7

Lavender



CMYK C 40 / M 60 / Y 0 / K 0

RGB R 190 / G 110 / B 215

HEX #BE78D7

Naples Yellow



CMYK C 10 / M 20 / Y 75 / K 0

RGB R 245 / G 210 / B 85

HEX #F5D255

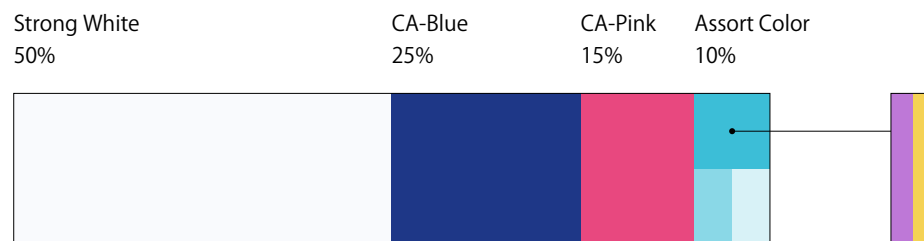
12 カラーシステム:カラーバランスの目安

ブランドイメージの構築にあたり、カラーは重要な役割を果たします。Call Analyticsらしい配色にするために、ここに示すカラーバランスの目安を参考に、適切な色表現をおこなってください。

プライマリーカラーバランス

Strong WhiteとCA-Blueでベースを構築し、CA-Pinkをアクセントとして使いつつ、アソートカラーでバランスを取ってください。

同時に使用するアソートカラーは極力1～2色に留め、デザインの大半を占めるような配色は避けてください。



セカンダリーカラーバランス

CA-Blueをベースカラーとする場合、Strong Whiteの割合を多めに取り、全体が暗い印象になりすぎないバランスを心がけてください。

